

# 「ドイツ視察報告」

ドイツの職業訓練システムについての続報です。ベルリンのカフェ経営者に話を聞いてみると、訓練生の月収は、1年目で700ユーロ、2年目で800ユーロ、3年目で900ユーロ、卒業して飲食店職人の資格を得ると、時給10.5ユーロとのことでした。

今、1ユーロが136円ですから、700ユーロが95,200円、800ユーロが108,800円、900ユーロが122,400円です。時給10.5ユーロでフルタイム働くと、1か月が約4.3週間なので、172時間働くとして、1,806ユーロで245,600円で、年収だと約300万円です。

訓練生はだいたい週4日フルタイム出勤のようですから、1年目だと時給5ユーロで6800円。職人の半額です。住宅手当は別に出るようですが、日本の最低時給は714円（宮崎、沖縄（大分715円・東京958円））ですから、これより下回っています。ベルリンの物価は日

本より高いですから（空港のカフェのコーヒーが3.9ユーロ530円）、かなり低い収入です。ベルリンの失業率は10%近くなのに、それでもかなりの人材不足で障害者の就業期待も高く、店舗展開も止めざるを得ないようです。

しかも、職人にどの程度の技量を要求しているのかわかりませんが、仮に店長レベルまでの技量を求めるなら、普通で1年、長く見ても2年掛からず充分習得可能だと経験的に思います。そうすると、不必要に長い訓練期間で、最低賃金を下回る労働を強要する仕組みになつてゐるんじゃないか？と思います。もちろんこれは標準的な賃金モデルなので、店によってはもっと賃金を払うことも出来るようですが、どうもベルリンではこれが相場でもあるようです。ベルリンはドイツ中でも経済的に弱い地域ですが、一応首都で最大都市ですから、世界最大都市である東京とは比べられないにしても、この待

遇は日本の飲食店従業員と比べると、相当低いです。ドイツは優れた職業訓練制度と、労使協定による待遇確保で職人が希望を持てる国だと思つていたので、飲食業界を比較する限りでは正直ガツカリしたし、同時に納得もしました。世の中そんなにウマい話があるわけない。労使協定も市場原理を離れては成り立たないんだと思いました。

また、ドイツでは日本人からすると仰天の事実も聞かえてきます。電車が決して時刻表通りに来ず、長距離列車に到つては数時間の遅れも珍しくない。先日開通した高速鉄道も初日からトラブルで数時間の大遅延となつてましたし、ベルリンの新空港は開港予定から7年経つても完成しないし、遅延発表が開港予定日の2週間前に行われ、大混乱と大損害が起こつたそうです。ベルリン市民は新空港は永遠に開港出来ないと思つて

いるらしく、未だに開港予定

が立っていないようです。またドイツではインターネットの通信環境が劣悪で、日本の20年前のような感じですが。インスタストリー4.0なんか言つてる前にネット環境をどうにかすると市民はボヤいてるそうです。政府も企業も努力はしているようですが、全然解決しないようで、しかも今、総選挙が終わつて半年経つても新政権が発足出来ない事が確定しています。

それでもドイツはEU最大の経済大国であり、経済も好調のようです。ドイツもEUも実は根の深い病いにかかっているのかもしれない。そういう意味では、日本はやはり方次第でまだまだ世界で充分闘えるのかもしれない。

日本の職人の待遇改善については、ドイツを真似るといふよりは、考え方を参考にしつつ、実効の上がる対策をしっかりと考えていきます。私達日本人ももっと自信を持つて、世界に出て行って、豊かな国を作っていきたいものです。

Facebookでも活動報告を行っています。〈Facebook アドレス〉 <https://www.facebook.com/anamiyoichi>

皆様のご意見をお聞かせください！お待ちしております。

あ な み よ う い ち

衆議院議員

# 穴見陽一

## 後援会 事務所



〒870-1133 大分市大字宮崎867-18 TEL.097-567-1319 FAX.097-567-2010

<http://www.anamin.net> E-mail:info@anamin.net